

ポルトガル語とスペイン語の副詞の強意的表現 *bem* と *bien*、*mesmo* と *mismo* について

堀 由美

0. はじめに

近隣言語であるポルトガル語とスペイン語は言語的類似性が高く、各母国語話者が相手の言語を話す場合には逐次的な語彙の置換えに終始している。両母国語話者間のコミュニケーションにおける誤解を回避するため、話し手の心的態度が最も現れる強意的表現について両言語の比較検証を行う。

Rodolfo Ilari (1992) は、論文“Sobre advérbios focalizadores”において強意的表現に使用されるポルトガル語の副詞の機能として *intensificação* 「強意化」機能と *focalização* 「焦点化」機能を紹介している。前者の機能は段階的特性を有する対象の程度に言及する働きであり、後者は非段階的特性を有する対象の性質を肯定する働きである。そこで、*intensificação* 機能を果たし「とても」を意味するポルトガル語 *bem* とスペイン語 *bien* と、*focalização* 機能を果たし「まさに」を意味するポルトガル語 *mesmo* とスペイン語 *mismo* を分析し、両言語の各強意語の意味と機能を検証する(以下、ポルトガル語は(ポ)、スペイン語は(ス)と語の後に付与する)。

1. 強意語の辞書的意味

bem (ポ) と *bien* (ス) と、*mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) の辞書的意味を葡葡辞書 *Aurélio* と西西辞書 *María Moliner* から抜粋する。各強意語の意味の違いを明確にするため、それぞれの意味の前にポルトガル語文法命名法で定められた意味上の基準に基づき分類された副詞の種類を【 】付で明記する。

bem (ポ) ...1.muito, bastante 「【程度】とても、かなり」、2.convenientemente 「【様態】適当に」、3.com afeição 「【様態】愛情を持って」、4.com saúde 「【様態】健康で」、5.com perfeição 「【様態】立派に」、

2 堀 由美

6.acertadamente 「【様態】適切に」, 7.claramente 「【様態】明確に」,
8.seguramente 「【肯定】確実に」, 9.exactamente 「【肯定】まさに」
bien (ス) ...1.la acción se realiza como conviene o se debe hacer 「【様態】立派に、
適切に」, 2.con buena salud 「【様態】元気で」3.agradable 「【様態】
順調に」, 4. (形容詞や他の副詞と使用) muy 「【程度】とても」
5.asentimiento débil 「【肯定】よろしい」, 6.repetido 「(接続詞的
用法)かまたは...か」

mesmo (ポ) ...1.exactamente 「【肯定】まさに」, 2.até, ainda 「【肯定】~でさえ、
~であっても」, 3.realmente 「【肯定】本当に」

mismo (ス) ...1.expresión enfática para subrayar que se trata precisamente de la cosa
que se nombra 「【肯定】まさに」, 2.por ejemplo 「【肯定】例えば」

以上の辞書的意味のうち強意的表現として使用される意味は、*bem* (ポ) と
bien (ス) に関しては程度副詞として機能する *bem* (ポ) と *bien* (ス) の「と
ても」と、肯定副詞として機能する *bem* (ポ) の「まさに」である。しかし、
bien (ス) が「とても」を意味するのは、形容詞や副詞と共に起する場合という
制限付である。*mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) に関しては肯定副詞として機能す
る *mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) の「まさに」と、*mesmo* (ポ) の「本当に」と
「~でさえ、~であっても」である。では、実際に使用されている強意語 *bem*
(ポ) と *bien* (ス) と、*mismo* (ス) と *mesmo* (ポ) の用法の違いを機能別に
検証する。

2. 強意語の機能

Rodolfo Ilari (1992) は、ポルトガル語の副詞の強意的表現で使用される機能
として *intensificação* 「強意化」機能¹ と *focalização* 「焦点化」機能² を紹介し
ている。本稿では、ポルトガル語とスペイン語の強意語であり、「とても」を意
味する *bem* (ポ) と *bien* (ス) と、「まさに」を意味する *mesmo* (ポ) と *mismo*
(ス) をこの二つの機能を用いて分析する。コーパスとして、ポルトガル語、
スペイン語そして日本語の文学作品を両言語に訳したものを使用し、用例の抜
粋箇所は以下のように表記する。用例番号は両言語訳を比較するために同じ番
号を使用し、スペイン語訳の番号には ' 記号を付与する。また、日本語訳での
各強意語が意味する部分を下線で示す。

[P diário 8]=o diário de um mago, p.8 / [S diario 8]=diario de un mago, p.8

2.1 intensificacao 「強意化」機能と focalizacao 「焦点化」機能の違い

intensificação 機能とは段階的特性を有する対象の程度に言及する働きである。一方、focalização 機能とは verificação 「確認」操作を有し、対象の性質を肯定する働きである。ここでの verificação 操作とは対話者の注意を引き、発話の内容が正しく解釈されるための働きかけである。intensificação 機能により程度副詞 *bem* (ポ) と *bien* (ス) は対象の程度を強め「とても」を意味する。また、focalização 機能により肯定副詞 *mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) と *bem* (ポ) は対象の性質、つまり対象のあるべき姿と同一であるという意味で対象の完全性を肯定し「まさに」を意味する。intensificação 機能を果たす語を intensificador 「強意語」と、focalização 機能を果たす語を focalizador 「焦点語」と呼ぶ。

(1) como se chama aquela florzinha branquinha *bem* cheirosa...

eu acho que é ja... jasmim, não é?

「とても香りのよいあの白い花は何という名前ですか...」

「ジャスミンではないでしょうか」

(2) lá em Ipanema, *bem* em frente daquele Cine-Park

「イパネマで、あのシネマパークのまさに正面で」

(1)の *bem* (ポ) は香りの程度を指摘し、その強度によりジャスミンを他の花と区別していることから、intensificador として機能し「とても」を意味している。(2)の *bem* (ポ) は位置の完全性を肯定しており、focalizador として機能し「まさに」を意味している。³

コーパスにおいても、*bem*(ポ)と*bien*(ス)は辞書的意味と同様に intensificador として機能し「とても」を意味する用例が見つかった。しかし、*bien*(ス)に関しては形容詞や副詞と共起する場合のみであった。また、「とても」を意味する頻度は *bem*(ポ)が*bien*(ス)と比べ高く、スペイン語訳では *muy*(ス)と *mucho*(ス)が使用されている。しかし、他の *muy*(ス)と *mucho*(ス)はポルトガル語訳では *muito*(ポ)が使用されている。従って、*bien*(ス)が意味する「とても」と *bem*(ポ)の「とても」はまったく同じではないと考えられる。

(3) O menino abriu *bem* os olhos. (P trem 46)

「男の子がぱっちり眼をあいて言いました。」

(3') el niño abrió *mucho* los ojos. (S tren 48)

(4) até noite já *bem* avançada (P cem 15)「夜がすっかり更けるまで」

(4') hasta *muy* entrada la noche (S cien 15)

4 堀 由美

また、*bem* (ポ) が辞書的意味と同様に *focalizador* として機能し「まさに」を意味する用例も見つかった。しかし、*bien* (ス) が「まさに」を意味する用例はなく、スペイン語訳では *justo* (ス) が使用されているため、*bien* (ス) は *focalização* 機能を果たさないことがわかった。これは、辞書的意味と一致する。また、他の *justo* (ス) はポルトガル語訳では *justo* (ポ) が使用されているため、*bem* (ポ) の「まさに」と *justo* (ス) の「まさに」はまったく同じではないと考えられる。

(5) *parar bem em frente à cruz* (P trem 59) 「まさに十字架の正面で止まった」

(5') *detuvo justo frente a la cruz* (S tren)

mesmo (ポ) と *mismo* (ス) に関しては次節で扱う。

2.2 *mesmo* と *realmente*

「本当に」を意味する *mesmo* (ポ) を類義語 *realmente* (ポ) が持つ *reforço* 「強化」機能と *dissuação* 「断念」機能を用いて説明している。この *reforço* 機能は断定の真実性を強化させる働きであり、*dissuação* 機能は反対意見の支持を断念させる働きである。*mesmo* (ポ) は *focalização* 機能と同時にこの *reforço* 機能を果たし、断定の真実性を完全なものとして肯定し、「本当に」を意味する。

(6) *Então entendendo mesmo?*

「本当に理解しているの？」

(7) *eu acho importante, bem importante mesmo essa complementariedade.*

「私は重要だと、その補充は本当にとても重要だと思う。」

コーパスでは、*mesmo* (ポ) が *focalização* 機能と *reforço* 機能を果たし「本当に」を意味する用例は多数見つかったが、*mismo* (ス) が「本当に」を意味する用例はなく、スペイン語訳では *realmente* (ス) が使用されている。つまり、*mismo* (ス) は *focalizador* として機能しない。これは、辞書的意味と一致する。

(8) *Tal vez fosse melhor mesmo seguir a conselho de Petrus,* (P diário 33)

「本当は、多分ペトルスの助言に従ったほうがよかったですよ」

(8') *Realmente, tal vez fuese mejor seguir el consejo de Petrus* (S diario 35)

また、*mesmo* (ポ) と *realmente* (ポ) は共に *reforço* 機能を果たし「本当に」を意味するが、*verificação* 操作能力の程度に違いがあることが以下の用例から確認することができた。従って、*mesmo* (ポ) と *realmente* (ス) の「本当に」

はまったく同じ意味ではないことがわかった。

(9) Agora eu tinha certeza de que estava vendo *mesmo* um anjo (P diário 64)

「自分は本当に天使を見ているのだと、私は今や確信した。」

(9') Ahora estaba seguro de estar viendo un ángel (S diario 64)

(9)の *mesmo* は focalização 機能と reforço 機能を果たし「本当に」を意味するが、(9')のスペイン語訳ではいかなる語によっても表現されていない。従って、*mesmo* の verificação 操作能力は *realmente* と比べ低いことがわかった。

Rodolfo Ilari (1992) が論文では扱わなかったが、辞書的意味として挙げられた「まさに」を意味する *mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) は、*bem* (ポ) の「まさに」と同様に対象の完全性を肯定し focalização 機能を果たしている。しかし、*mismo* (ス) が「まさに」を意味するのは、西西辞書においてもコーパスにおいても、時と場所を意味する語と共起する場合のみであった。従って、*mismo* (ス) の持つ focalização 機能には制約があると考えられる。

(10) Depois, cansados da viagem, Repoisávamos na estalagem (Que era em Casais, *mesmo* ao dobrar...)

「旅行の後、私たちは疲れていたの宿屋で休んでいた。その宿屋はカサイスにあり、まさに曲がったとき...」

(11) Delante *mismo* de la casa, (*María Moliner*)

「まさに家の前で」

mismo (ス) の focalização 機能に制約があることを、形容詞 *mismo* (ス) との関係から確認できる用例を以下に挙げる。

(12) Severo e até *mesmo* Nívea respiraram aliviados (P casa 23)

「セベローはもちろんニベアでさえ、ほっと安堵の溜息を漏らした。」

(12') Severo y hasta *misma* Nívea respiraron aliviados (S casa 25)

(12) の *mesmo* (ポ) は語尾変化しておらず、肯定副詞として até 「～でさえ」の完全性を肯定し focalizador として機能している。一方、(12') の *misma* (ス) は語尾変化しており、形容詞として「Nívea であること」の完全性を肯定し、ポルトガル語訳と同じ意味を表現している。このことから、スペイン語の形容詞 *mismo* は focalizador として機能し、副詞 *mismo* (ス) の制約付き focalização 機能を補っていると考えられる。

2.3 hedge 「ヘッジ」表現と focalizacão 「焦点化」機能の違い

強意的表現として、「まさに」と「とても」を意味する以外の *mesmo* (ポ) の意味を hedge 「ヘッジ」表現を用いて説明している。hedge 表現と focalização 機能との共通点は対象の性質を肯定するという点であるが、対象の境界移動の有無という点で異なる。つまり、focalização 機能では対象の境界が固定され、その特定された領域の元で対象の性質が肯定される。一方、hedge 表現では対象の境界が移動され、その不特定な領域の元で対象の性質が肯定される。⁴ そして対象の境界が移動されることから、対象の周縁的意味に焦点が当てられ、その結果として話し手の心的態度が表われる。⁵ hedge 表現に使用される語を delimitador 「境界語」と呼ぶ。

hedge 表現にはいろいろな要素があり、delimitador として機能する *mesmo* (ポ) のひとつの表現として、二つ以上の対象の境界を移動させ、それらの対象の領域を同一化させることにより「～も」を意味し、その結果として話し手の心的態度を表す表現がある。

(13) Até domingo passado *mesmo* nós fizemos um chá em benefício

「先週の日曜日も私たちは慈善パーティーを開きました」

(14) Eu saio bastante também porque o meu marido todos os meses ele vai pra

Caixias, ele faz a praça de lá, então eu aproveito e vou junto, o dia que eu não tenho aluno, ele sempre vai num dia que eu não tenho aluno *mesmo* e a... eu aproveito para fazer minhas comprinhas.

「私はよく出かけます、なぜなら夫は毎月カイシャスへ行き店を出し、私も一緒に行きます、私の教室がない日は、彼が行く日は私の教室もないので...そして私はショッピングを楽しみます。」

(13) の *mesmo* (ポ) は話し手を先週日曜日の慈善パーティーの空間に移動させ、発話時において慈善パーティーと同一性を有する事柄が存在していることを表している。(14) の *mesmo* (ポ) は夫が町へ行き店を開くことと妻の教室がないこととを同一の空間に位置させ、「妻の教室がない日に夫は町に行く」ことを表している。

mesmo (ポ) が delimitador として機能する他の表現として、対象の境界をあいまいにし言いにくいことを表現するものがある。つまり、話し手の心的態度を緩和的に表現するのである。Rodolfo Ilari (1992) は、あいまい表現に使用される delimitador の好例として *mesmo* (ポ) が *e por que não dizer* 「～ね」を意味

する例文を挙げている。

(15) A gente começa pelo salgado, termina pelo doce e finalmente “por favor me dá a conta” um pouco constrangido às vezes num é, não querendo até *mesmo* pagar.

「人は料理で始まり、デザートで終わり、最後に『勘定お願いします』と少々窮屈な思いで(払います) 払いたくないけれどね。」

(15) の *mesmo* (ポ) は delimitador として機能し、話し手の「払いたくない」という心的態度を緩和的に表現している。

コーパスにおいても、*mesmo* (ポ) が辞書的意味意外の「～も」や「～ね」を意味する用例が見つかった。一方、*mismo* (ス) が delimitador として機能する用例はなかった。これは、辞書的意味と一致する。また、*mesmo* (ポ) が「～ね」を意味する場合は、スペイン語訳ではいかなる語によっても表現されていないことが多かった。

(16) A subida demorou várias horas e,Tinham aproveitado uma estrada vicinal que levava até o alto do monte. -É assim *mesmo*- disse Petrus.

(P diário 61)

「(私たちは) 頂上に登りつくまでに数時間かかった。彼らは山の頂上まで別の道を自動車に登ってきたのだ。このとおりになんだよね、とペトルスは言った。」

(16') La subida nos ocupó varias horas y, ... Habían utilizado una carretera secundaria que conducía a la cima del monte. -Así es- dijo Pertus.

(S diario 61)

(16) の *mesmo* (ポ) は話し手の「このとおりである」という批判的な心的態度を緩和的に表現している。(16') のスペイン語訳ではいかなる語によってもこの話し手の心的態度は表現されていない。

また、*mesmo* (ポ) が delimitador として機能し話し手の心的態度を緩和的に表現する、辞書的意味と同様の「～さえ」や「～であっても」を意味する用例も見つかった。

(17) e *mesmo* assim não dava muita importância (P diário 61)

「しかも、少しも大切だとは思わなくなっていた。」

(17') y aun así les daba poca importancia (S diario 61)

(18) *mesmo* no trabalho físico (P cem 14) 「肉体労働を含めてまで」

8 堀 由美

(18') *aun* en el trabajo físico (S cien 15)

mismo (ス) に関しては「～さえ」や「～であっても」を意味する用例はなく、スペイン語訳では *aun* (ス) と *aunque* (ス) が使用されている。これは、辞書的意味と一致する。しかし、他の *aun* (ス) と *aunque* (ス) はポルトガル語訳では *até* (ポ) と *ainda* (ポ) が使用されているため、*mesmo* (ポ) と *aun* (ス) が意味する「～さえ」も *mesmo* (ポ) と *aunque* (ス) が意味する「～であっても」もまったく同じ意味ではないと考えられる。

「～であっても」を意味する *mesmo* (ポ) は、*mesmo quando* 「～するときも」や *mesmo que* 「たとえ～であっても」などの慣用表現において使用されることが多いことがわかった。

(19) *no estoy seguro, ... mesmo que vestisse uma capa de arminho,* (P casa 31)

「薄紫の服を着ていたように思うが、...よく覚えていない。」

(19') *não estou certo disso, ... aunque llevara una capa de armiño* (S casa 33)

3. 結論

ポルトガル語とスペイン語の強意的表現を比較するため、「とても」と「まさに」を意味する程度副詞と肯定副詞である *bem* (ポ) と *bien* (ス) と、*mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) を *intensificação* 機能と *focalização* 機能そして hedge 表現を用いて分析した。それぞれの機能と表現に使用される各強意語は、対象の「強度」と「完全性」そして「話し手の心的態度」に言及するものであるといえる。強意語として機能する *bem* (ポ) と *bien* (ス) と、*mesmo* (ポ) と *mismo* (ス) の機能と意味を表にまとめた(表1参照)。

「とても」を意味する *bem* (ポ) と *bien* (ス) は共に *intensificação* 機能を果たし対象の程度を強める。*intensificador* としての使用頻度については *bien* (ス) が *bem* (ポ) と比べ低く、*bien* (ス) に関しては形容詞や副詞と共起する場合のみであった。また *muito* (ポ) と *mucho* (ス) や *muy* (ス) との競合関係から、*bien* (ス) と *bem* (ポ) が意味する「とても」はまったく同じではないと考えられる。「まさに」を意味する *bem* (ポ) は *focalização* 機能を果たし対象の完全性を肯定するが、*bien* (ス) は *focalização* 機能を果たさない。

mesmo (ポ) は多義な語であり、*focalização* 機能を果たし「まさに」を意味し、また *focalização* 機能と同時に *reforço* 機能を果たし「本当に」を意味する。そして、hedge 表現に使用された場合は、二つ以上の対象の境界を移動させ対

象の領域を同一化させることにより「～も」を意味し、また対象の境界をあいまいにし話し手の心的態度を緩和的に表現する。*mismo* (ス) は *intensificação* 機能も *reforço* 機能も果たさず、*focalizador* として機能し「まさに」を意味するのみであるが、コーパスにおいて *mismo* (ス) が「まさに」を意味するのは時と場所を意味する語と共起する場合のみであった。また、西西辞書 *Diccionario de Dudas y Dificultades de la Lengua Española* (1986) は、副詞 *mismo* (ス) が「まさに」を意味するのは形容詞 *mismo* (ス) が副詞化した地域的な表現⁶ であり形容詞と混同され使用されている、と紹介している。

(20) en España *mismo* / en España *misma* 「まさにスペインで」

つまり、*mismo* (ス) の強意的表現としての唯一の意味である「まさに」は形容詞の副詞的用法であり、従って *mismo* (ス) は強意語としての機能を完全には獲得していないと考えられる。一方、*mesmo* (ポ) は多数の機能や意味を持ち、強意語としての地位を確立している。

表 1

機能\語	<i>bem</i> (ポ)	<i>bien</i> (ス)	<i>mesmo</i> (ポ)	<i>mismo</i> (ス)
<i>intensificação</i> 機能	「とても」	「とても(形容詞や副詞と共起)」「mucho・muy を多用)		
<i>focalización</i> 機能	「まさに」	7	「まさに」	「まさに(時と場所の語と共起)」「形容詞の副詞的用法)
(+ <i>reforço</i> 機能)			「本当に」	
hedge 表現 (対象の境界を移動)			「～も」	
(対象の境界を曖昧化)			「～ね」「～さえ」「～であっても」(慣用表現として使用)	

ポルトガル語話者とスペイン語話者のコミュニケーションにおける誤解を回避するために、両言語における副詞の強意的表現を検証した。*mesmo* (ポ) は *mismo* (ス) と比べ多くの意味を表し、また *delimitador* として話し手の心的態度を表す機能を果たすため、スペイン語話者が使用する際に誤用しやすい語であると考えられる。今後の研究課題として、本稿で確認された「とても」を意味する *bem* (ポ) と *muito* (ポ)、*bien* (ス) と *mucho* (ス) や *muy* (ス) 「まさ

に」を意味する *bem* (ポ) と *justo* (ポ) と *mesmo* (ポ) の競合関係や、強意語と被修飾語との共起関係⁸ そして強意的表現に使用される他の副詞⁹ の分析が必要であると考えられる。

注

1 Rodolfo Ilari (1990) は、ポルトガル語の副詞を被修飾語の意味核に影響を与える *adverbio predicativo* 「叙述副詞」と影響を与えない *adverbio não predicativo* 「非叙述副詞」に分類している。*intensificação* 機能は *adverbio predicativo* が持つ機能であり、その働きとは被修飾語の特質や行為をパラメーター(媒介変数)上に位置付けるものである。また、名詞や代名詞と共起するとメタファー(隠喩)の一種として働くか、量的・品質的要素の曖昧性を明確化する働きをする。

(21) *ele é muito gente* 「彼はとても人間的だ」 / *chefe é muito ele*
「リーダーはとても自分勝手だ」

2 Rodolfo Ilari (1990) は、*focalização* 機能を *adverbio não predicativo* のひとつの言語表現である *expressões de focalização* 「焦点表現」として挙げている。

(22) *Queria falar justamente a respeito disso.*
「まさにその件について話したい(他の件ではない)。」

3 Rodolfo Ilari (1992) は、*bem* (ポ) の機能として *medo/maneira* 「様態」、*intensificação* 「強意」、*exatidão* 「完全性」の三つの機能を挙げている。Nicole Delbecque (1982) は、*bien* (ス) の機能として「様態」と「強意」の機能を挙げている。

4 Rodolfo Ilari (1990) は、*hedge* 表現を *adverbio predicativo* に属する *modalizador* 「様態副詞」のひとつの言語表現として挙げている。*hedge* 表現は「領域を制限し、その領域の元である判定が正しいと見なされる」表現であると説明している。

(23) *Humanamente, é impossível fazer tanto processo ao mesmo tempo.*
「人間として、それほど多くの処理を同時に行うことは不可能である。」

5 三浦(1991) は、話者および作家の心的態度を表す副詞を特示副詞(*distinguishing adverb*)と紹介している。また、同書で取り扱われた得示副詞に関する論文で、得示副詞の一覧表に「~も」を意味する *also* と *too*、「~さえ」を意味する *even* が挙げられているため、*delimitador* として機能する *mesmo* (ポ) は得示副詞であると考えられる。

6 *mesmo* (ス) の他の地域的表現を列挙する。

・ *justo* (ス) *justamente* (ス) *cabalmente* (ス) 「まさに」...地域不明

(24) *Mismo* parecía que estábamos entre caballeros.

「まさに私たちは男性たちの中にいるようだった。」

・ *verdaderamente* (ス) *en realidad* (ス) 「本当に」...アルゼンチンの北東地域

・ *incluso* (ス) *hasta* (ス) 「～さえ」...ラ・プラタ川地域

7 Nicole Delbecque (1982) は、*bien* (ス) は動詞に対して前位をとると解釈に揺れを生じさせると紹介している。*bien* (ス) が様態副詞として機能し「適切に」を意味するという解釈と、肯定副詞として función enunciativa de afirmación 「肯定の発話機能」(文全体の内容を肯定する)を果たし「まさに」を意味するという解釈が生じる。

(25) *Bien* sabía Sarmiento, al pasar por la Habana, dónde dar con Antonio.

「よく/まさに、サルミエントはハバナに立ち寄る際にどこでアントニオと出くわすべきかを知っていた。」

8 強意語と被修飾語との共起関係で、両言語に違いが認められた用例を挙げる。

(26) A panela estava posta *bem* no centro da mesa (P cem 20)

「鍋はテーブルの真中にちゃんとのっていたが、」

(26') La olla estaba *bien* puesta en el centro de la mesa (S cien 21)

(26) の *mesmo* (ポ) と (26') の *mismo* (ス) はそれぞれ *posta* (ポ) と *puesta* (ポ) を修飾しているが、*mesmo* (ポ) は被修飾語に対し後位をとり、*mismo* (ス) は前位をとっている。スペイン語訳では、*bien* (ス) が過去分詞と共起する場合、すべての用例で被修飾語に対し後位をとっていた。

(27) em todos, ...viu *mesmos* pesar e inocência (P casa 39)

「すべての人が同じような悲痛な表情を浮かべていて、(とても娘を毒殺したようには)見えなかった。」

(27') en todos, ...vio el *mismo* pesar y la *misma* inocencia (S casa 41)

(27) の形容詞 *mesmos* (ポ) は *pesar* (ポ) と *inocência* (ポ) を同時に修飾し、被修飾語の性数と一致し複数形に活用している。(27') の *mismo* (ス) は *pesar* (ス) と *inocencia* (ス) を別々に修飾している。スペイン語訳では、*mismo* (ス) が二つ以上の語と共起する場合、すべての用例で別々に修飾していた。

9 その他の強意語の用法として、両言語に違いが認められた用例を挙げる。

(28) com *muito mais* força que antes (P trem 54)

「いままでよほど激しく流れていたらしく、」

12 堀 由美

(28') con *mucha más fuerza* que antes (S tren 56)

(28)の *mucho* (ポ) は強意副詞として *mais* を修飾している。(28')の *mucha* (ス) は意味の上では強意副詞として機能しているが、*fuerza* (ス) に対応して性変化しているため形態的には形容詞として機能している。『中級スペイン文法』(p458) は、口語では副詞 *mucho* (ス) が性数変化することがあると紹介している。

文献

Aurélio, Barque 他 (1999) *o Dicionário da Língua Portuguesa*, Nova fronteira, Rio de Janeiro.

Celso, Cunha (2001) *Nova Gramática do Português Contemporâneo*, Nova Fronteira, Rio de Janeiro.

Günther, Haensch 他 (2000) *Diccionario del Español en Argentina*, Gredos, Madrid.

Manuel, Alvar Ezquerro (1987) *Diccionario General Ilustrado de la Lengua Española*, Biblograf, Madrid.

Maria, Moliner (1999) *Diccionario de Uso del Español*, Gredos, Madrid.

三浦敏明 (1991) 『英語副詞の研究 副詞の多様性』,文化書房博文社.

Nicole, Delbecque (1982) “Las funciones de así, bien y mal”, *Revista Española de Lingüística*, pp.435-466.

Pablo, Grosschmid 他 (1997) *Diccionario de Regionalismos de la Lengua Española*, Juventud, Madrid.

Rodolfo, Ilari (1990) “Considerações sobre a Posição dos Adverbios”, *Gramática do Português Falado* vol. , UNICAMP. pp63-141.

Rodolfo, Ilari (1992) “Sobre advérbios focalizadores”, *Gramática do Português Falado* vol. , UNICAMP, pp. 193-212

山田善郎監修 (1997) 『中級スペイン文法』,白水社.

コーパス

García, Márquez (1996) *cien años de soledad*, Diana, México,D.F.

García, Márquez: Eliane, Zagury 訳 (2002) *cem ano de solidão*, Record,Rio de Janeiro .

Isabel, Allende (1996) *la casa de los espíritus*, Plaza & Janés, Barcelona.

Isabel, Allende: Carlos, Martins Pereira 訳 (2002) *a casa dos espíritos*, Bertrand Brasil, Rio de Janeiro.

Kenji, Miyazawa: Montse, Watkins 訳 (1994) *tren nocturno da via láctea*, Gendaikikaku-shitsu.

Kenji, Miyazawa: Montse Watkins 訳 (1996) *tren nocturno de la vía láctea*, Gendai-kikakushitsu.

Paulo, Coelho (2001) *o diário de um mago*, Rocco, Rio de Janeiro.

Paulo, Coelho: Hinda, Katia Schumer 訳 (2002) *diario de un mago*, Planeta, Barcelona.